

ぼくとわたしの ギャウリ



「ゆきだるまがいっぱい」
(幼稚園ウィーク造形展より)

南あわじ市内の公立幼稚園（湊、津井、丸山、阿那賀、伊加利、志知）の3歳児による共同作品。新聞紙を丸めて白い紙で丸く包んだ胴体、ペットボトルの蓋を貼り付けた目玉、木の枝と手袋で作った手など身近な材料で雪だるま4体を作りました。

園

灘黒岩水仙郷
☎ 56・0721

- ▽開園期間 二月下旬まで
- ▽開園時間 午前九時～午後五時
- ▽入園料 大人五百円、小学生三百円、団体割引有
- ▽直行バス なないろ館前から運行中



わかまち ふるさと資源

▲遊歩道を歩けば、水仙の美しい花の香りで心も体もリラックス

瀬戸内海に浮かぶ淡路島は花の島。なかでも真冬の水仙の群生美はすばらしく、灘海岸は、越前海岸（福井県）、房総半島（千葉県）と並ぶ、日本水仙三大自生地。

灘黒岩水仙郷

標高六百八mの論鶴羽山から海に続く四十五度の急斜面の一带、約七ヘクタールにわたって五百万本の野生の水仙が咲き誇り、毎年多くの観覧者に感動を与えます。
黒岩水仙郷には、一重咲きの野生二ホ



▲頂上の展望台からの眺めはレモンイエローの水仙と、穏やかな海のブルーに感動。沖合には、沼島が浮かぶ

ンスイセンを中心に、八重咲きの花も混じっています。遊歩道に導かれて可憐な花の間を縫って歩けば、まさに白いじゅうたんの上を歩いている気分。やわらかな香りがひと足早い春を運んでくれるでしょう。

わかまち 元気

観光資源に富んだ、市の魅力を発信

南あわじ市観光協会会長 鳥井幸祐

平成十七年四月に発足した南あわじ市観光協会は、平成十八年九月、陸の港西淡に事務局を開設し、観光の振興を目的に積極的な活動を行っています。
南あわじ市には、「ふるさと資源」がたくさんあります。特に南あわじ市でなければ見ることの出来ない自然環境（うずしお、水仙郷、慶野松原、沼島等）、観光施設や伝統芸能、また地場産業（淡路瓦、農業、漁業、酪農業、素麺等）。この豊かな観光資源を有する南あわじ市の魅力の数々を積極的に島内外に向けてPRし、観光客の心をひきつけ、魅力あふれる観光地となるように会員一同が協力し努力しております。

観光協会ではボランティア活動として、毎月第三水曜日に南あわじ市内の美化



◀観光名所の清掃活動



▲水仙娘による観光PR (12月24日、灘黒岩水仙郷開園式)

南あわじ市観光協会

- ◆会長 鳥井幸祐 ◆会員数 415 事業所
- ◆活動内容 観光情報の提供（チラシ・パンフレット・ホームページ）、マスコミへのPR・取材協力、観光イベントの実施、観光案内など

清掃活動をしています。一般の方の参加をお待ちしております（十六頁参照）。